



認定NPO法人育て上げネット

2016.09.23

働き方に関する政策決定プロセス 有識者会議

■ 未来に向けた「あるべき」「ありたい」
姿を提示していただきたい（方向性提示）

→ 政府の方向性、各分科会・部会からの
ボトムアップとは別に、労働政策審議会
としての「意志」としての方向性を
提示

→ ネット中継などテクノロジーを活用し
国民のアクセシビリティを担保

■ 国民が「自分事」化しやすい委員構成と 社会の変化に対応するスピード化

→ 組織体、業種、年代およびエリアに
偏らない委員の構成

→ オンライン活用を含む、調整コストを
短縮する基盤整備

→ 非営利組織からの人選を増やしてほしい
※ 「公」「労」「使」にかかわらず

■次代を担う「次世代委員会」の設置

→U-40/U-30/U-20の世代による
「次世代委員会」を、本審/分科会/部会
などに設置していただきたい。

■その他

→中央官僚も委員として議論に参画する
機会を創っていただきたい。

→会の頻度や時間の柔軟な設計を可能に。

すべての若者が社会的所属を獲得し、 「働く」と「働き続ける」を実現できる社会



若者と社会をつなぐ